

陳情文書表

【平成30年6月定例会議】

受理年月日	受理番号	提出者	付託委員会
平成30年6月6日	陳情第2号	小松島市横須町7番12号 横須協議会 代表 中村 博彰	産業建設 常任委員会

(件名・要旨)

横須地区の生活環境改善に関する陳情について

【陳情の要旨】

当協議会は、年々少子化や高齢化が進行する中、地域住民が安全で安心して住める、より良い地域づくりを目指して活動を行っているところである。

こうした中、去る5月12日に開催した平成30年度第1回理事会において、地域住民からの要望事項について協議を行った。

交通問題として、本年4月初め頃に市役所前信号パターンの変更があって以来、朝夕には県道120号徳島小松島線（旧国道55号）上り車線（徳島方面行）の渋滞が極端にひどくなり、特に朝の通勤時には市役所前から金磯付近まで渋滞が続き、横須地区住民の車が本線に出られない状況がある。

県道120号競輪場前交差点の上り車線（徳島方面行）では、競輪場への来場車両や(株)日新・(株)ニホンフラッシュへの運送車両、通勤者などで右折車両が多く、他の直進車両をふさいでしまい渋滞となることが多い。右折ができたとしても信号が変わるときのみで、1台分だけしか通行できないなど大きな支障をきたしている。

さらに、最近、県道が渋滞することから抜け道として旧道を走行する車両が多いが、この道は子供の通学路や高齢者の生活道路となっており、通り抜け車両の通行は非常に危険である。

また、競輪開催については、これまでの長年の経緯もあり、当協議会としてもできる限り共存共栄を図る方向で協力を行ってきたところである。今回、コース及びメインスタンド等の老朽化に伴う改修計画を検討しているとの報道がなされているが、今後も競輪事業を継続していくのであれば一定の施設整備はやむを得ないと考えている。

しかしながら、改修に合わせて夜間照明を設置し、ミッドナイト競輪を実施する計画があると伝え聞くが、この開催計画は地元として全く聞いていない上、開催に伴いどのような影響が出るか非常に問題がある。周辺住民への夜間照明の影響や、最終周回前の打鐘音が住民の安眠の妨げとなることが予想され、ミッドナイト競輪の実施は反対である。

このような事態を踏まえて、小松島市に早急な対応を求めるため陳情するものである。

【陳情事項】

1. 県道120号徳島小松島線（旧国道55号）上り線の朝夕の渋滞対策について、市役所前の変則4差路交差点（須原歯科前）の信号と市役所出口前信号、競輪場西門信号の3つの連動が悪い上、上り線を長時間信号で止めていることから渋滞が生じていると思われるので、元の信号パターンに戻すなど早急な改善を図ること。
（具体的には、線路側からの信号が青の時に西向きは左折可の矢印信号が出るが、市役所玄関前が赤となっていて流入車両はおらず意味をなさない。競輪場西門前と市役所玄関前を青にして車を流入させるとバイパス方面への車が通行できて車が流れる。）
2. 競輪場前交差点（上り線）の信号を右折可能となるよう、時差信号に変更すること。
3. 横須旧道（市道）の通行について、（株）日新及びニホンフラッシュ（株）に対し、朝夕の通勤時に従業員が通行しないよう要望しているが、市においても住民の通行安全確保のために配慮願いたい。
4. 競輪場改修計画の策定にあたっては、地元同意のないまま進めることのないよう強く要望する。